

(あんしんトリピーメールより引用)



犯罪下見活動の可能性あります

最近、貴金属等の買取業者を装った不審な訪問が確認されています。
これらは、家族構成・資産・留守にする時間等を把握するために
訪問し、強盗・窃盗・詐欺等の下見をしている可能性があります。

不審な訪問の例

- 不要品の買取に来た業者が、家族や資産のことをしつこく聞いてきた。
- 買取業者を名乗る者を家に入れたら、貴金属の保管場所を勝手に物色していた。
- 点検業者を名乗る者が、点検とは関係のない部屋にまで入ろうとした。
- 実在する会社を名乗る者が、口座情報を聞いてきた。
- 無断で家の内外の写真を撮っていた。



もし突然知らない人が訪問してきたら…

- 家の中に入れない！玄関での対応も要注意！家族構成等を知られる可能性があります。
- 名刺・社員証の提示を求める！（提示を拒んだり、ほとんど見せないような場合は要注意です）
- ！ 事前に正規の身分証を用意した上で不審な言動をすることもあるので、見せたとしても注意が必要。



**不審な訪問があれば、最寄りの警察署へ！
110番や、警察総合相談電話「#9110」のご利用も！**

警察官・検事をかたる二セ警察詐欺が多発中

**鳥取市居住の70代女性が、警察官、検事をかたる電話で
約1,750万円をだまし取られる詐欺被害が発生しました**

概要

- ・令和8年6月、女性のスマートフォンに【+】から始まる電話番号から着信があり、電話に出ると、通信関係の官公庁職員を名乗るA男から「あなた名義で携帯電話が2台契約されているが心当たりはないか」などと言われる。
- ・女性が心当たりがないことを伝えると、大阪府警の警察官を名乗るB男に代わり「大阪府警に来て被害届を出してもらえるか」などと言われたが、行くことができないと答えたところ、今度は検事を名乗るC男に代わり「資金調査する必要があり、指定する口座に資金移動してもらわなければならない。調査が終わればお金は全て返ってくる。今回の件は非公開捜査なので誰にも言ってはならない。」などと言われる。
- ・その後、C男とLINEアカウントでやりとりを行い、顔写真付きの手帳や書類の写真を送ってこられたことから、本物の検事だと信じ、指定された口座に15回にわたって、合計約1,750万円を振り込み、詐欺の被害にあったことが判明した。



- **【+】から始まる国際電話番号を悪用した二セ警察詐欺が多発しています。**
- **警察や検事は、国際電話やLINEで連絡したり、お金の振込を要求することは絶対にありません。**